

林相		地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
針広混交林		山腹斜面	東	1	2	直近 1.9	累積 2.2	なし
毎木	本数密度	総BA	下枝本数密度、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)		
	44 /200m ²	61.7 m ² /ha	18 /200m ² 、 3、 17 %		16 /200m ²	2/34、 6 % (0 %)		
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率		林床	種数		ササ被度・高さ・食痕率	現存量m ³ /m ²
	10 /200m ²	1/10、 10 %		21	61 %		・ 109 cm ・ 0 %	0.71

毎木調査—主な樹種

種名	本数 (本)	総BA (cm ²)	下枝あり (本)	新規樹皮剥ぎ (本)
トドマツ	11	8,511	1	0
オオカメノキ	7	39	7	0
アカイタヤ	4	175	2	0
カツラ	4	1,656	2	0
サワシバ	4	151	3	0
全体	35	12,344	19	0

※総 BA は、胸高断面積の総和

稚樹調査結果—主な樹種

種名	本数 (本)	食痕 (新)有
アカイタヤ	5	
シナノキ	4	
オヒョウ	1	1
エゾマツ	1	
全体	11	1

林床植生調査結果—主な植物

種名	方形区数	現存量 (m ³ /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	19	0.658	61%	108.7	0
オオカメノキ	3	0.017	3%	56	2
オシダ	3	0.016	3%	48.3	3
フッキソウ	18	0.01	5%	19.6	8
イワガラミ	6	0.005	3%	19.2	2

※現存量は被度と高さの積として算出。全体の被度は植被率の値。



本調査地は、峠下西山林道沿いに設定した。トドマツが優占し、広葉樹は、カツラやオオカメノキが混生する針広混交林である。直近 SPUE は、1.9 と低い。広葉樹の下枝は、オオカメノキやアカイタヤに見られ、食痕が確認された。新規樹皮剥ぎはないが旧樹皮剥ぎは見られた。

広葉樹の稚樹は、アカイタヤやシナノキが生え、オヒョウに食痕が見られた。林床植生にはクマイザサが生え、オオカメノキやオシダに食痕が見られた。

林相		地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林		緩傾斜地	南東	1	2	直近 4.9	累積 3.7	なし
毎木	本数密度	総BA	下枝本数密度、食痕数、率			小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)	
	46 /200m ²	52.5 m ² /ha	24 /200m ² 、 2、 8%			11 /200m ²	8/49、 16% (0%)	
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率		林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率		現存量m ³ /m ²
	7 /200m ²	0/7、 0%		3		93% ・ 105 cm ・ 0%		0.98

毎木調査—主な樹種

種名	本数 (本)	総BA (cm ²)	下枝あり (本)	新規樹皮剥ぎ(本)
イタヤカエデ	19	2,611	12	0
ハウチワカエデ	6	499	4	0
ミズナラ	5	3,769	2	0
アカイタヤ	5	443	4	0
エゾマツ	3	69	3	0
全体	46	10,491	29	0

※総 BA は、胸高断面積の総和

稚樹調査結果—主な樹種

種名	本数 (本)	食痕 (新)有
ハウチワカエデ	7	
全体	7	

林床植生調査結果—主な植物

種名	方形区数	現存量 (m ³ /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	20	0.979	93%	105.3	0
イタヤカエデ	12	0	0%	9.2	0
ハウチワカエデ	7	0	0%	6.7	0

※現存量は被度と高さの積として算出。全体の被度は植被率の値。



本調査地は、岩魚沢林道沿いに設定した。イタヤカエデやミズナラが優占する広葉樹である。SPUE は、4.9 と高い。下枝は、イタヤカエデやハウチワカエデ等に見られるが、食痕は見られない。新規樹皮剥ぎは見られないが旧樹皮剥ぎは見られた。

広葉樹の稚樹は、ハウチワカエデが見られるが、食痕は見られない。林床植生は、クマイザサが生え、食痕は見られない。

林相		地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林		山腹斜面	北西	1	2	直近 3.9	累積 3.1	シカ目視オス1頭
毎木	本数密度	総BA	下枝本数密度、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)		
	60 /200m ²	51.2 m ² /ha	31 /200m ² 、 1、 3%		24 /200m ²	6/49、 12% (0%)		
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率		林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率		現存量m ³ /m ²
	3 /200m ²	1/3、 33%			14	89% ・ 96 cm ・ 0%		0.86

毎木調査—主な樹種

種名	本数 (本)	総BA (cm ²)	下枝あり (本)	新規樹皮剥ぎ (本)
ハウチワカエデ	19	197	19	0
シナノキ	13	794	6	0
トドマツ	13	3,984	8	0
ナナカマド	6	1,284	3	0
ミヤマザクラ	2	257	1	0
合計	60	10,230	41	0

※総 BA は、胸高断面積の総和

稚樹調査結果—主な樹種

種名	本数 (本)	食痕 (新)有
トドマツ	5	
ハウチワカエデ	2	
エゾマツ	1	
シナノキ	1	1
全体	9	1

林床植生調査結果—主な植物

種名	方形区数	現存量 (m ³ /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	20	0.854	89%	96	0
ハウチワカエデ	7	0.002	1%	15.7	0
トドマツ	3	0	0%	66.3	0
シナノキ	1	0	0%	80	1
コヨウラクツツジ	3	0	0%	25.3	0

※現存量は被度と高さの積として算出。全体の被度は植被率の値。



本調査地は、影沢林道沿いに設定した。トドマツが優占し、広葉樹は、ナナカマドやシナノキ等が混生する針広混交林である。直近 SPUE は、3.9 と高めである。下枝のある広葉樹は、ハウチワカエデやシナノキ等に見られ、食痕も見られる。新規樹皮剥ぎはないが旧樹皮剥ぎは見られる。

広葉樹の稚樹は、ハウチワカエデとシナノキが生え、食痕はシナノキに見られる。林床植生は、クマイザサが優占し、食痕はシナノキの実生木に見られる。

林相		地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
針広混交林		山腹斜面	南東	1	1	直近 4.3	累積 3.6	糞
毎木	本数密度	総BA	下枝本数密度、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)		
	43 /200m ²	39.0 m ² /ha	17 /200m ² 、 1、 6%		8 /200m ²	2/27、 7% (0%)		
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率		林床 種数	ササ被度・高さ・食痕率		現存量m ³ /m ²	
	38 /200m ²	1/38、 3%			36% ・ 50 cm ・ 0%		0.20	

毎木調査—主な樹種

種名	本数 (本)	総BA (cm ²)	下枝あり (本)	新規樹皮 剥ぎ(本)
トドマツ	17	4,981	15	0
イタヤカエデ	6	231	4	0
ヤマモミジ	6	103	6	0
キタコブシ	5	412	4	0
ミズナラ	4	1,377	3	0
合計	43	7,806	34	0

※総 BA は、胸高断面積の総和



稚樹調査結果—主な樹種

種名	本数 (本)	食痕 (新)有
キタコブシ	19	1
トドマツ	5	
全体	24	1



林床植生調査結果—主な植物

種名	方形 区数	現存量 (m ³ /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕 区数
クマイザサ	17	0.178	36%	50	0
キタコブシ	1	0.01	1%	95	0
オシダ	1	0.004	1%	35	0
スゲSP	3	0.003	2%	15	0
チョウセンゴミシ	11	0.002	2%	8.1	0

※現存量は被度と高さの積として算出。全体の被度は植被率の値。

本調査地は、武利本流林道山彦線沿いに設定した。トドマツが優占し、広葉樹ではミズナラやイタヤカエデが混生する針広混交林である。直近 SPUE は、4.3 と高い。下枝のある広葉樹は、イタヤカエデやヤマモミジに見られ、食痕も確認されている。新規樹皮剥ぎはないが旧樹皮剥ぎは見られる。

広葉樹の稚樹は、キタコブシが生え、食痕も見られる。林床植生は、クマイザサが生え、食痕は見られない。

林相		地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
針広混交林		平坦	-	1	2	直近 15.0	累積 5.0	なし
毎木	本数密度	総BA	下枝本数密度、食痕数、率			小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率 (新規)	
	34 /200m ²	46.8 m ² /ha	20 /200m ² 、 0、 0%			7 /200m ²	12/33、 36% (6%)	
稚樹	本数密度	食痕数 (新規)、食痕率		林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率		現存量m ³ /m ²
	19 /200m ²	2/19、 11%				17	73% ・ 95 cm ・ 20%	

毎木調査—主な樹種

種名	本数 (本)	総BA (cm ²)	下枝あり (本)	新規樹皮剥ぎ (本)
ナナカマド	16	4,867	8	2
シナノキ	6	1,443	2	0
ハウチワカエデ	6	98	6	0
オガラバナ	3	101	3	0
トドマツ	2	2,767	0	0
合計	34	9,350	20	2

※総 BA は、胸高断面積の総和

稚樹調査結果—主な樹種

種名	本数 (本)	食痕 (新)有
ハウチワカエデ	14	
オガラバナ	3	
トドマツ	3	
シナノキ	2	2
全体	22	2

林床植生調査結果—主な植物

種名	方形区数	現存量 (m ³ /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	20	0.689	73%	95	4
シラネワラビ	11	0.114	21%	55	0
ヒメゴヨウイチゴ	4	0.005	3%	20	0
スゲSP	6	0.001	1%	17.8	0
タニギキョウ	5	0.001	2%	4.8	0

※現存量は被度と高さの積として算出。全体の被度は植被率の値。



本調査地は、国道 333 号線沿いに設定した。ナナカマドやシナノキが優占し、トドマツも生える針広混交林である。直近 SPUE は 15.0 と非常に高い。広葉樹の下枝は、ナナカマドやハウチワカエデに見られ、食痕は見られない。新規樹皮剥ぎは、ナナカマドに見られる。

広葉樹の稚樹は、ハウチワカエデやシナノキが見られ、食痕がシナノキに見られた。林床植生は、クマイザサが生え、クマイザサに食痕が見られた。

林相		地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
針広混交林		平坦	-	1	2	直近 2.0	累積 4.5	足跡・シカ目視幼獣1
毎木	本数密度	総BA	下枝本数密度、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)		
	46 /200m ²	36.6 m ² /ha	19 /200m ² 、 0、 0%		14 /200m ²	5/25、 20% (0%)		
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率		林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率		現存量m ³ /m ²
	0 /200m ²	0/0、 - %				13	41% ・ 188 cm ・ 0%	

毎木調査—主な樹種

種名	本数 (本)	総BA (cm ²)	下枝あり (本)	新規樹皮剥ぎ(本)
オガラバナ	17	193	16	0
ダケカンバ	12	2,851	3	0
ナナカマド	8	1,804	3	0
エゾマツ	5	948	4	0
トドマツ	4	1,531	1	0
合計	46	7,327	27	0

※総 BA は、胸高断面積の総和

稚樹調査結果—主な樹種

種名	本数 (本)	食痕 (新)有
エゾマツ	2	
トドマツ	1	
全体	3	

林床植生調査結果—主な植物

種名	方形区数	現存量 (m ³ /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
チシマザサ	17	0.772	41%	188.2	0
シラネワラビ	12	0.089	16%	55.9	0
オガラバナ	10	0.015	5%	30	2
オクノカンスゲ	2	0.005	2%	25	0
イワガラミ	5	0.003	4%	8.4	0

※現存量は被度と高さの積として算出。全体の被度は植被率の値。



本調査地は、国道 273 号線から浮島湿原に続く未舗装路沿いに設定した。ダケカンバやナナカマドが優占し、トドマツも生える針広混交林である。直近 SPUE は 2.0 であり、シカの調査時にシカの幼獣を目視している。広葉樹の下枝は、オガラバナやナナカマド等で見られるが、食痕は見られなかった。新規樹皮剥ぎはないが、旧樹皮剥ぎは見られる。

広葉樹の稚樹は、見られずエゾマツとトドマツのみ見られた。林床植生は、チシマザサが優占し、オガラバナで食痕が見られている。

林相		地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林		山腹斜面	西	1	2	直近 4.9	累積 5.1	糞
毎木	本数密度	総BA	下枝本数密度、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)		
	66 /200m ²	34.6 m ² /ha	36 /200m ² 、 2、 6%		31 /200m ²	13/69、 19% (0%)		
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率		林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率		現存量m ³ /m ²
	24 /200m ²	3/24、 13%			33	38% ・ 163 cm ・ 0%		0.71

毎木調査—主な樹種

種名	本数 (本)	総BA (cm ²)	下枝あり (本)	新規樹皮剥ぎ(本)
ヤマグワ	1	65	0	0
オヒョウ	1	962	0	0
イヌエンジュ	2	43	2	0
イタヤカエデ	28	506	23	0
キタコブシ	1	19	1	0
合計	66	6,924	36	0

※総 BA は、胸高断面積の総和

稚樹調査結果—主な樹種

種名	本数 (本)	食痕 (新)有
イタヤカエデ	8	
シナノキ	7	3
シウリザクラ	6	
トドマツ	1	
ホオノキ	1	
全体	23	3

林床植生調査結果—主な植物

種名	方形区数	現存量 (m ³ /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
チシマザサ	20	0.618	38%	162.5	0
オシダ	4	0.016	3%	54	2
エゾニュー	1	0.015	1%	146	0
シナノキ	1	0.008	1%	150	1
ミヤマナルコユリ	9	0.007	2%	29.3	1

※現存量は被度と高さの積として算出。全体の被度は植被率の値。



本調査地は、溪谷林道沿いに設定した。イタヤカエデが優占する広葉樹林である。SPUE は、4.9 と高い。下枝のある樹木は、イタヤカエデやイヌエンジュ等で見られ、食痕が見られる。新規樹皮剥ぎはないが、旧樹皮剥ぎは見られる。

広葉樹の稚樹は、イタヤカエデやシナノキが見られ、食痕がシナノキで見られる。林床植生は、チシマザサが優占し、オシダやシナノキの実生木等に食痕が見られた。

林相		地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林		山腹斜面	北	1	2	直近 4.5	累積 5.4	なし
毎木	本数密度	総BA	下枝本数密度、食痕数、率			小径木 5cm未満		樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)
	54 /200m ²	33.0 m ² /ha	31 /200m ² 、 0、 0%			24 /200m ²		2/53、 4% (0%)
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率		林床	種数		ササ被度・高さ・食痕率	現存量m ³ /m ²
	8 /200m ²	0/8、 0%			26		48% ・ 102 cm ・ 0%	0.63

毎木調査—主な樹種

種名	本数 (本)	総BA (cm ²)	下枝あり (本)	新規樹皮 剥ぎ(本)
シウリザクラ	15	2,751	8	0
シナノキ	10	1,043	4	0
イタヤカエデ	7	913	3	0
オヒョウ	4	887	1	0
ホオノキ	3	781	2	0
合計	54	6,596	32	0

※総 BA は、胸高断面積の総和



稚樹調査結果—主な樹種

種名	本数 (本)	食痕 (新)有
ヤマモミジ	5	
シウリザクラ	3	
エゾマツ	1	
全体	9	



林床植生調査結果—主な植物

種名	方形 区数	現存量 (m ³ /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕 区数
クマイザサ	20	0.482	48%	101.5	0
ノリウツギ	11	0.028	4%	74.9	4
オシダ	8	0.024	4%	56.5	0
ジュウモンジシダ	13	0.023	6%	40.2	4
トドマツ	1	0.016	2%	106	0

※現存量は被度と高さの積として算出。全体の被度は植被率の値。

本調査地は、上立牛 36 線沢林道に設定した。シウリザクラやシナノキが優占する広葉樹林である。直近 SPUE は、4.5 で高い。下枝は、シウリザクラやシナノキ等で見られ、食痕はない。新規樹皮剥ぎはないが旧樹皮剥ぎは見られる。

広葉樹の稚樹は、ヤマモミジ、シウリザクラが生え、食痕はない。林床植生は、クマイザサが優占し、ノリウツギの実生木やジュウモンジシダに食痕が見られた。

林相		地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林		山腹斜面	東	1	2	直近 6.7	累積 3.2	なし
毎木	本数密度	総BA	下枝本数密度、食痕数、率			小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)	
	81 /200m ²	52.9 m ² /ha	38 /200m ² 、 1、 3%			32 /200m ²	0/73、 0% (0%)	
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率		林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率		現存量m ³ /m ²
	1 /200m ²	0/1、 0%			1	52% ・ 112 cm ・ 0%		0.58

毎木調査—主な樹種

種名	本数 (本)	総BA (cm ²)	下枝あり (本)	新規樹皮 剥ぎ(本)
ハウチワカエデ	39	1,501	21	0
シナノキ	16	1,300	13	0
ホオノキ	3	266	2	0
イタヤカエデ	5	603	1	0
ハリギリ	1	370	0	0
合計	81	10,585	41	0

※総 BA は、胸高断面積の総和

稚樹調査結果—主な樹種

種名	本数 (本)	食痕 (新)有
イタヤカエデ	1	
全体	1	

林床植生調査結果—主な植物

種名	方形 区数	現存量 (m ³ /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕 区数
クマイザサ	20	0.576	52%	111.8	0

※現存量は被度と高さの積として算出。全体の被度は植被率の値。



本調査地は、上藻別林道沿いに設置した。ハウチワカエデやシナノキが優占する広葉樹林である。直近 SPUE は、6.7 で高い。下枝のある広葉樹は、ハウチワカエデやシナノキにあり、食痕が見られる。樹皮剥ぎは見られない。

稚樹は、イタヤカエデがあるが食痕はない。林床植生は、クマイザサのみ生えており、食痕はない。

林相		地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
針広混交林		山腹斜面	北西	1	1	直近 4.6	累積 4.0	なし
毎木	本数密度	総BA	下枝本数密度、食痕数、率			小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)	
	36 /200m ²	62.7 m ² /ha	21 /200m ² 、 0、 0%			8 /200m ²	5/36、 14% (0%)	
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率		林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率		現存量m ³ /m ²
	56 /200m ²	8/56、 14%			13	36% ・ 108 cm ・ 0%		0.44

毎木調査—主な樹種

種名	本数 (本)	総BA (cm ²)	下枝あり (本)	新規樹皮剥ぎ(本)
ハウチワカエデ	11	344	9	0
イタヤカエデ	6	1,254	3	0
カツラ	5	6,750	1	0
オヒョウ	5	442	5	0
シウリザクラ	3	866	1	0
合計	36	12,537	21	0

※総 BA は、胸高断面面積の総和

稚樹調査結果—主な樹種

種名	本数 (本)	食痕 (新)有
シウリザクラ	26	8
キハダ	1	
オオバボダイジュ	1	
全体	28	8

林床植生調査結果—主な植物

種名	方形区数	現存量 (m ³ /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	19	0.393	36%	108.4	0
シウリザクラ	7	0.034	5%	70.7	5
コンロンソウ	12	0.014	4%	39.1	0
レンブクソウ	18	0	0%	7.6	0
シナノキ	4	0	0%	25.8	1

※現存量は被度と高さの積として算出。全体の被度は植被率の値。



本調査地は、10 線沢林道沿いに設置した。カツラやイタヤカエデ等が優占する針広混交林である。直近 SPUE は、4.6 で高い。下枝のある樹種は、ハウチワカエデやオヒョウであるが、食痕はない。樹皮剥ぎは、新規樹皮剥ぎはなく、旧樹皮剥ぎが見られる。

稚樹ではシウリザクラ、キハダ、オオバボダイジュが見られ、食痕がシウリザクラで見られる。林床植生は、クマイザサが優占し、シウリザクラとシナノキの実生木で食痕が見られる。